

明治廿八年三月刊行 (不發賣)

第二回勸業諮問會日誌

愛知縣內務部

第三課



第二回勸業諮問會日誌

縣令第五十九號

勸業諮問會規則別紙之通相定

明治二十年五月七日

愛知縣知事勝間田 稔



勸業諮問會規則

第一條 勸業諮問會ニ諮問スヘキ事項左ノ如シ

海陸運賃ノ利害 道路港灣ノ開鑿修築ニ關スル事

河渠用水水疏通ニ關スル事

農商工水産山林鑛山ノ利害及改良保護ニ關スル事

四 農商工水産山林鑛山ニ關スル統計ノ事

第二條 諮問會ハ毎年二回トシ開會ノ期節ハ其時々之ヲ定ム

第三條 諮問會開會ノ日數ハ五日以内トス

第四條 諮問會員ノ人員ハ三十六名以内トス



第五條 諮問會員ハ農商工事ニ名望アルモノ、内ヨリ縣知事之ヲ撰任ス

第六條 諮問會員ハ諮問ノ時々之ヲ命スヘシ

但戶長縣會議員等ノ職務アルモノト雖ヒ之ヲ兼務セシムルコトアルヘシ

第七條 諮問會員ノ招集ハ其時々縣知事ノ達書ヲ以テスヘシ

第八條 諮問會ノ會則ハ總テ談話ノ体ヲ用フ

但會場規則ハ別ニ定ムル所ニ依ル

第九條 諸説ノ採擇ハ會頭ノ意見ニアルヘシ

但時宜ニヨリ會員ノ意見ヲ識別スルタメ起立ノ作用ニ依ルコトアルヘシ

第十條 諮問會ノ會頭ハ縣知事之ヲ勤ム

但時宜ニヨリ部長又ハ課長ヲシテ代理セシムルコトアルヘシ

第十一條 説明委員及書記ハ其時々屬官中ヨリ縣知事之ヲ命ス

第十二條 農商務省官吏及農商工上等會員又ハ縣知事ノ許可ヲ得タル本縣ノ官吏ハ會場ニ列シ意見ヲ述フルコト得ヘシ但會員ノ數ニ加ヘス

第十三條 諮問會員ノ旅費日當ハ縣會議員ノ旅費日當ニ超ヘサル額ヲ目途トシ別ニ定ムル所ニ依リ之ヲ支給ス

第十四條 農商務大臣主務ノ官署ヨリ本會ノ意見ヲ問フコトアルキハ之ヲ議ス

第十五條 諮問會ハ勸業上公益ノ件ニ付農商務大臣及主務ノ官署ニ意見書又ハ

報告書ヲ呈スルコト得

縣令第六十七號

明治二十年五月縣令第五十九號勸業諮問會規則第四條會員ノ人員三十六名ヲ四十分

名ト改正ス

明治二十七年十二月三日

愛知縣知事時任爲基

告示第三百三十七號

本年十二月五日ヨリ三日間縣會議事堂ニ於テ第二回勸業諮問會ヲ開設ス

明治二十七年十二月三日

愛知縣知事時任爲基



○第二回勸業諮問會々頭説明委員書記會員

第一番	會頭	愛知縣書記官	岩男三郎
第二番	説明委員	參事官	横田太一郎
第三番	同	愛知縣技師	松崎祇能
第四番	同	愛知縣屬	枝德二
	書記	同	佐野政辰
	同	同	宮城英邦
第一番	會員	同	丹羽嘉
第二番	同	海東郡	服部信猷
第三番	同	知多郡	佐野七兵衛
第四番	同	愛知郡	小島治一
第五番	同	名古屋市	服部小十郎
第六番	同	八名郡	赤川要助
第七番	同	西加茂郡	浦野錠平
		北設樂郡	原田甚八郎

第八番	同	西春日井郡	加藤豐成
第九番	同	實飯郡	加藤六藏
第十番	同	名古屋市	吉田藤在
第十一番	同	幡豆郡	太田善四郎
第十二番	同	渥美郡	吉原祐太郎
第十三番	同	葉栗郡	宮田慎一郎
第十四番	同	東春日井郡	鈴木勇右衛門
第十五番	同	西春日井郡	平手藤十郎
第十六番	同	海東郡	豐江次郎
第十七番	同	丹羽郡	武内勘三郎
第十八番	同	額田郡	野村榮喜知
第十九番	同	八名郡	鈴木平五郎
第二十番	同	愛知郡	下郷百松
第二十一番	同	碧海郡	近藤林
第二十二番	同	幡豆郡	太田伊八



第廿三番	同	西加茂郡	遊佐美香
第廿四番	同	寶飯郡	岩瀬長兵衛
第廿五番	同	碧海郡	鍋田恒雄
第廿六番	同	海東郡	岡本清三
第廿七番	同	中島郡	小塚逸夫
第廿八番	同	丹羽郡	欠席 谷久三郡
第廿九番	同	東加茂郡	板倉林十郡
第三十番	同	知多郡	端山忠左衛門
第三十一番	同	滙美郡	宅間菊太郎
第三十二番	同	額田郡	近藤東右衛門
第三十三番	同	東春日井郡	堀尾茂助
第三十四番	同	東加茂郡	安藤學
第三十五番	同	栗原郡	内田慎一
第三十六番	同	南設樂郡	小野田義緒
第三十七番	同	北設樂郡	欠席 古橋源六郎

第三十八番	同	南設樂郡	丸山彌右衛門
第三十九番	同	海西郡	青木英二
第四十番	同	中島郡	山内龜次郎

○第二回勸業諮問會を則

- 第一條 會場ハ午前第九時ニ開キ午后第三時ニ閉ツ時宜ニ依リ之レヲ伸縮スルハ會頭ノ意見ニヨルヘシ
- 但開場閉場ハ號鐘ヲ以テ之ヲ報ス
- 第二條 會員ノ席次ハ豫メ抽籤ヲ以テ之ヲ定メ場中相互ノ稱呼ハ席次番号ヲ用フヘシ
- 第三條 發言ハ必ス會頭ニ向テ之ヲ爲シ會員相對ノ應答ヲ爲スヘカラズ若シ二人以上同時ニ發言スルモハ會頭其一人ヲシテ發言セシムヘシ
- 第四條 會員ノ發言ヲ止メ又ハ特ニ發言セシムル等総テ會頭ノ意見ニヨルヘシ
- 第五條 會員ハ會頭命ズル處ノ問題ニ就キ充分ニ其意見ヲ陳述スヘシト雖モ最モ寬談温話ヲ旨トシ人身上ノ褒貶毀譽ハ勿論苟モ駁撃抗論ニ涉ルヘカラス



第六條 問題ノ主旨ニ付質問ヲ要スルキハ會頭ノ許可ヲ得ルノ後説明委員ニ向

テ之ヲ爲スヘシ説明委員ハ其質問ニ對シ詳細答辨スルモノトス

第七條 諸説ノ採擇ハ會頭ノ見込ニヨルト雖トモ會員ノ意見ヲ識別スヘキ爲メ

起立等ノ作用ニ及フコトアルヘシ

第八條 會員勸業上公益ノ件ニ付農商務大臣及主務ノ官署ニ意見書等ヲ呈セン

トスルキハ豫メ文案ヲ以テ會頭ニ差出スヘシ會頭ハ問題ノ都合ヲ見計ラヒ之

ヲ衆議ニ付スルモノトス

第九條 議事中心會員會頭ノ許可ヲ得ルニ非サレハ擅ニ會場ヲ退クヲ得ス

第十條 會員缺席スルキハ其事由ヲ記シ當日開會時限前會頭ニ届出ヘシ

○第二回勸業諮問會問題

農事改良ニ關スル方案ハ一二ニシテ止マラサルヘシト雖モ實業家相互ニ一致結  
合シ之レカ改良進歩ヲ畫策實施スルノ最モ緊急ナリトス願フニ本縣ニ於ケル既  
ニ三河農會及ヒ郡農會町村農會等ノ設ケアリテ其設備ノ如キ大ニ見ルヘキモノ  
ナキニアラサルモ未ダ全縣下ニ通シタル縣農會ヲ設クルノ運ヒニ至ラサルハ實

ニ望蜀ノ憾ナキ能ハサルナリ依テ今茲ニ勸誘シテ縣農會ヲ組織セシメ一ハ以テ  
農政機關ノ完成ヲ期シ一ハ以テ彼此氣脈ヲ通シ農事ノ發達ヲ圖ランコトヲ講究  
審査スルノ資ニ供セントス即チ組織ノ要領ヲ擧クシ凡ソ左ノ如シ

(一) 目的

縣農會ハ縣下農事改良ニ關スル一切ノ事業ヲ講究調査シ各農會ト氣脈ヲ通シ勸  
奨誘掖ノ責ニ任スルヲ以テ要旨トス

(二) 組織

縣下一般ニ通シテ之レヲ組織シ就中實業家及ヒ地主ヲ以テ其骨子トス

(三) 役員

會長幹事等ノ役員ハ會員中ヨリ公撰シ其任期ヲ定ムルモノトス

(四) 會期

會期ハ定期臨時ノ二トシ定期會ハ春秋兩度之ヲ開キ臨時會ハ緊急ヲ要スル場合  
ニ之レヲ開クモノトス

(五) 會費

總ヘテ會員ハ本會ヲ維持スルニ足ルヘキ的ケノ會費ヲ負擔スルノ義務ヲ有スル



第二回勸業諮問會日誌

- 一 明治廿七年十二月五日午前第十時三十分第二回勸業諮問會開會式ヲ舉行ス
- 一 縣知事ノ招集ニ應シタル會員ハ會場ニ上リ整列ス
- 一 縣知事ハ書記官説明委員及書記ヲ率ヒ出場シ(此時會員一同立禮ヲ行フ)今度本會ヲ開クノ必要アリヲ以テ會員諸君ノ出場ヲ乞ヒシカ差支アリ會頭ニ立ヲ得ス書記官ヲシテ代理セシム依テ諮問案ヲ呈出シ置キマシタレハ充分講究陳述アラソクナク旨ヲ述ヘ退出セラル
- 會頭 本會ハ諮問案ノ通素ト農事改良ノ事ヲ有リマスカラ胸襟ヲ開キ充分ニ御意見ヲ述ベラレタシ(書記諮問案ヲ朗讀ス)御質疑ガアリマシレハ精シキ御答ハ技師ガ居リマセヌカラ致シ兼チマスガ大体丈ケハ御答致ス積リデアリマス
- 九番 大体ニ就キ是丈ケデアリマスガ
- 會頭 今回ハ是丈ケデアリマス
- 九番 大体ニ就キ御尋致シマス此問題中ニ一ツノ目障リガ有リマス其レハ農政ノ事ト農事ノ事ト區別ガシテアル如何デスカ
- 説明委員(一番) 同シ様ナ事デアリマスガ



- 九番 然スルト農事ノマツリゴトチスルノデスカ
- 三十番 此案ヲ見マスルト縣農會ノ事デ有リマスガ郡農會ハ出來テナリマスカ
- 説明委員(四番) 三河ハ一般ニ出事テ居リマスガ他ハ未タ出來マセン
- 三十三番 郡農會ト云フモノガ起テ居ル所ハ宜シイガ未タ出來テ居ラン所ハ如何致シマス
- 説明委員(四番) 未タ出來テ居ラン所ハ着々手ヲ着ケル見込デアリマス
- 三十九番 郡農會村農會又ハ國農會夫レ等ハ別ニ組織スルト云フデアリマスカ
- 説明委員(一番) 縣ト云フカラ見ルトキハ單ニ有ルノ無イノト云フ別段必要ハナイ三河國ハ即チ其國ノ組織カ運テ居ルデアリマス
- 二十六番 只今デハ尾張農會ノ組織ハ如何デス
- 説明委員(一番) 成立仕掛ケデアリマス
- 二十二番 縣農會郡農會村農會ト組織スルノガ順序デアリマスカ村農會ヲ確立シ夫レカラ郡縣ト行クノガ順序デ縣農會ヲ先ニ立ルノハ逆デアルト考ヘマ

- 會頭 其論議ハ後ニ廻シ質問ノミセラレタシ
- 十七番 此案ヲ發シタル農政ニ關係ナキヤ
- 説明委員(一番) 農事ト云ヒ又農政ト云フデアリ去リナガラ農政農事ト云フ事ハ余リ差支ナイト思フガ若シ差支アレハ修正セシ
- 十八番 然スルト農會ノ組織農政ノ利害ヲ講究スルト云フノデ關係セナイト云フニアラズ
- 説明委員(一番) 利害得失ノ事ハ後テ意見ヲ御述ヘノ時ニ廻ハサレタシ
- 三十五番 縣農會ト云フモノハ近縣ノ内ニモ立テアリマスカ
- 説明委員(四番) 未タ夫レ迄ハ取調デアリマセ
- 二十六番 此目的ノ内ニモ説明ノ内ニモ見當ラヌガ町村郡尾三其止ニ縣農會都合四ツニナル之ハ縣農會カラ直ニ尾張三河夫レカラ郡村ト普及スルノ意ナ
- 説明委員(一番) 尤モ此立案ノ主意此縣農會ハ即チ國郡村ト云フ上ニ立テ万般ノ事ヲ総フルノデ總シテ云ハ、各農會ノ基本トナツテ行クト云フ積リテス



- 三十六番 大体ハ了知セリ意見ヲ呈出シタシ
- 會頭 普通ノ御意見ハ今少シ後ニ廻シタ方カ宜シカラシ
- 三十三番 農會ヲ誘導スルトハ其手續ハ如何様ニ致シマスカ
- 説明委員(一番) 知事ヨリ一般ニ對シ勸誘スルハ村農會ノ成立ヲ待テ郡縣ト行クノガ順序デアランナレトモ斯クスレハ幾分カ遅延ス依テ階級順序ガ立ナイ様デアリマスガ上カラ下ヲ勸メテ行ク即チ機關ノ運轉ヲ付ケテ行ク順序ニ本案ヲ提出サレタノデアリマス
- 九番 本員ハ此案是ヲ設クルカ設ケザルカノ設否ニ就キテハ能ク考ヘ能ク調査モ致サナケレハナラヌ故五名或ハ七名ノ委員ヲ置キ明日ノ九時マテニ調査ヲ爲シ其報告ヲ得ク上ニ致シ度ト考ヘマス
- 會頭 午餐ノ爲メ休憩シマス時ニ午前十一時五十分
- 會頭 午前ニ引續キ質問セラレタシ(時ニ午後一時)
- 三十五番 意見等ヲ述ンカ爲メ農事試験場ヘ行キ見テ來タシ故ニ今日ハ是ニテ止メラレタシ
- 三十八番 勸業諮問會ト云ヘハ廣イガ縣廳テハ若ヤ他ノ勸業ニモ勸及シテ行

- クノデアリマスカ
- 會頭 勸業ハ農商工ニ涉リマスカラ縣廳ハ諸君ノ意見ヲ伺テ農工商ト御尋スルイモアリマス此度ハ縣下農事改良ニ付諮問スルノデアリマス
- 三十九番 最早質問ハ盡キタレハ意見ヲ述ヘ差支ナキヤ諮問々題カラ考フレハ全ク縣農會ト相考ル愈縣農會ヲ起ストキハ縣郡村ト差違アラソ議論數多ニ涉ラン是ハ郡縣ト類別センケレハナランガ不幸ニシテ本日ハ松崎技師ノ居ラヌ故遺憾ナカラ充分ノ質問カ出來ヌ
- 十一番 只今勸業諮問會ニ松崎技師カ居ラザルハ不都合デアアル充分ノ質問カ出來ヌ
- 會頭 松崎技師ハ愛知郡ニ共進會ガアツテ褒賞授與式等ノ爲メ余議ナク行キテ居ラザルノデアアル
- 十一番 一寸同度縣郡村農會ノ順序ヲ縣廳ヨリ示シマスカ
- 説明委員(三番) 郡村農會ニ係ル方針順序等ノ組織ナシ
- 十一番 是迄ハナクモ以後ハ一定ノ勸誘方ヲ示シマスカ
- 説明委員(三番) 必要ニ迫ラレハ設ケマスガ未タ設ケテアリマセン



○三十六番 農政ノ事ニ就キ技師ニ説明ガ願ヒタイガ未タ出ラレヌカラ致方ガ  
 ナイガ此ノ政ニ重キヲ措テ農事ノ事ハ輕シ書テアル私ハ最モ要領的農政機關  
 ナ技師ノ我郡へ出張實際承リマシタカ農政農業ノ二ツニ別レルモノデ此縣農  
 會ハ只今區別スル意ヨリ出タモノデ農事ノ政ヲスルノデアラン然レモ農事ノ  
 一モ關係セナイデアハナン先刻ヨリ事ハ政ヲ爲スコトデアアル因テ政業ト二ツニ  
 別レテ居ル様ニ技師ニ承テ居ルト思フ第三役員等ノ事ハ總テ漠トシテナルガ  
 ラ分リニシイ

○説明委員(三番) 御承知ノ通勸業諮問會ハ學術事實上農事ヲ總テ併進スルノカ  
 目的テ此縣農會ハ愛知縣ニ必要トナレハ細則ヲ設ケ郡農會等ニ諮問ヲ及ホス  
 見込デアアル

○三十八番 第二ノ組織ト云フ處ニ書テアル縣下一般ニ通シテ縣農會ヲ起セハ  
 費用ハ何程又人員ガ多ケレハ何程其費用ハ會員ガ負擔スルカ其制限一人前何  
 程ノ豫算ナルカ之レ等ノ目的ハアルヤ

○説明委員(四番) 會員ノ費用等ノ事ハ未タ目度ヲ立テアリマセン  
 ○二十六番 別ニ諮問會ヲ開テ此位農政農事ノ政ヲ設ケ事ヲ勸メルノデアアルカ

ヲ規則ヲ設ケルト反テ眞ノ農會ヲ欠ク様ナモノト考ヘタル、カラ先ツ本日ハ  
 松崎技師カ居ラヌカ同技師ハ専門家テアルルラ各縣ノ事モ承知デアラン依テ  
 本日ハ農事試驗場ヲ見ル爲メ本會ヲ爰ニ止メ明日定時間カラ開ク様ニ致ス方  
 反テ整理上都合宜シカラシ

○二十四番 實ハ本案ニ就キ技師ニ縣農會ノ必要ノ事ヲ聞カントスルニ技師ハ  
 居ラヌ充分ラヌ故此案ノ實行ニ付委員ヲ幾名カ設ケ委員ノ報告ヲ聞キ又松  
 崎技師ノ説ヲ承リ度依テ本日試驗場ヲ未タ見サル者ハ見ル方カ宜シカラシ

○十一番 私ハ今日ノ休會ハ賛成ナレモ委員ヲ置ク事ハ不賛成デアアル唯明日ニ  
 延ス方カ宜シ

○會頭 皆權ガ技師ニ就キ説ヲ聞キ旁以テ本日ハ試驗場ヲ見ル等ノ爲メ本會ヲ  
 止メテオカン

○廿二番 伺ヒマスガ本會ハ諮問會ヲ縣農會ノ事ヲ問フノデアアルガ差支ナキ限  
 リハ他ノ農商工ノ事ヲ述テモ宜シキヤ

○會頭 差支ナシ  
 ○廿二番 本會ニテ少シク染色ニ就キ意見ヲ述ン



○會頭 本日ハ是テ置キマス時ニ二時三十分  
本日ノ出席員三十二名

十二月六日午前十時四十五分開會

出席三十一名

○會頭 昨日ニ引續キ會ヲ開キマス

○二十二番 私ハ松崎技師ノ説明前ニ於テ農會ノ事ニ付些シク述ヘタキコトガ  
アリマス抑々本縣ノ勸業ノ方針ハ那邊ニアルヤ私ハ三十歳ニナラズ故既往ノ  
コトハ存シマセヌガ將來ノ事モ本縣ハ未ダ確定シ居ラヌカラ極必要ノコトハ  
其國縣ニ應ジテ定ムケレバナラヌ本縣デハ技師ヲ雇ヒ費用ヲ拂ヒ其レ是レ  
スルハ之ハ形ノ上ニ於テスル獎勵ノヨク形ノナキコトハ未ダ獎勵シテナイ勸業  
ニ就キテハ縣ノ經濟ノ方法ヲ定ムケレバナラヌ其生産力ヲ考ヘテ方針ヲ定  
ムケレバナラヌト云ノハ今尾三兩國ノ土地デ産出セヌモノニ莫大ノ金ヲ出  
シテアルコトモアル綿ハ外國ヨリ逐々輸入スル多キニ隨テ衰頽スルニモ拘ハ  
ラズ工業即チ織物ハ漸次盛況ニ趨フ有様デアレバ金ノ出納ハ孰レが多イカ少  
ナイカ其實力ヲ考ヘ又三河ノ山ノ潤キニ山林ノ保護ノ行キ届カヌヨリシテ禿  
山トナリ樹木ガ出來ヌ故ニ熊野或ハ木曾其他ノ山カラ買來テ竣テ居ル様ナ場  
合又砂糖坏モ近頃出來ナイ様ニ成タノハ是モ獎勵保護ノ行キ届カヌカラデア



ルカヲ第一生産力ニ付尾三兩國ヨリ生ズル金高農事改良上主産物副産物ノ二  
 ヲ尤モ副産物ニ就キテハ外國貿易ガ時々變遷スルノデアルガ縣ノ經濟ハ三河  
 ハ如何尾張ハ如何ト調査シ方針ヲ定ムケレバナラヌ此縣ノ經濟ハ如何ト云  
 ハ必要ノ事ト考ルカヲ縣ノ經濟ヲ調ルハ一ツノ問題デアアル縣ノ當局者ハ如何  
 取調テアルカ實ニ不充分デアアル統計表ヲ見ルニ形ノ上ニ現ハレテアル丈ケノ  
 モノデ形ノ下ニアアルモノハ見ヘヌカラ縣ノ生活ノヨトヲ取調ルハ縣農會ガ必  
 要デアアル又郡村農會ヲ監督スルノモ縣農會ノ役デアアルカヲ縣農會ヲ起スト云  
 ハ私ハ極必要デアアルト思フ此勸業ノ方針ヲ定メルニハ之ニ關聯シテ述ヘタイ  
 事ハ澤山アルガ余リ長クナルカヲ他日ニ讓テ置ク兎ニ角ニ方針ヲ定ムケレ  
 バナラヌト云ノガ肝要デアアルノデアル

○會頭 諸君ニ申シマズ此縣農會ノ事ニ付技師ノ説明キ乞フテ御方モ余程アリ  
 マシクカテ是ヨリ技師ノ説明致サセマス

○説明委員(二番) 是ヨリ愚見ヲ申述ヘマス辭ノ達セサル處ハ豫メ御酌量ヲ願ヒ  
 置マス扱此農事ノ改良進歩ヲ計リマスニ茲ニ最モ大切ナル二ツノ着眼點ガ有  
 ウト思ヒマシク此二ツノモノハ最モ密着シ須臾モ相離ル可ラサルモノ又敢テ輕

重アル可クキキモイナリ其間ニ於テ剩餘ニ區別ヲナシテ兩々相隨伴シテ行  
 クハオラオイキキト思ヒマス則チ農政ト云フコト農業ト云フコトニツクテ  
 マス此三ツノモノヲ能ク區別シテ互ニ相牽引シ其一ヲ進ムレバ他二ツ  
 進ムルカ如ク時勢ノ變遷事物ノ進歩ニ伴ヒ終始斯ク如クナルハ勿論ナリト存  
 在マシク然レモ此農會組織ノハ農政ノ一部分ニ屬スルコトナレハ先ツ農ノ技術  
 則チ農業ト云フコトハ暫ク措キ専ラ農政上ノコトニ就テ申シ述ベマス扱此農政ト  
 申ストニ付テ熟考者下ヲ見マスハ又茲ニ二ツノ大要素ガ在リマシク則  
 上ニ向テ下ニ向テテスルコト疎離ヨリ人民ニ向テテ施ス處ノ舉柄ト下ヨリ上  
 向テテスルコト人民ヨリ政府向テ具陳スルコト若クハ官ノ世話ハナクモ自村  
 自郡ハ所謂自治自營ノ精神ニ基キ大ニ事業ヲ擴張スルカ如クオトノ三要素カ  
 アリマス簡短ナク辭ヲ以テ申シ上ヲ下ニ傳ヘテ所謂官邊ヨリ來ル處ハ農政ト民  
 本自治自營ノ精神ニ基キ其土地ノ實際ヨリ生マ來ル處ノ農政トオ三ツガアリ  
 ます然レ處從來本縣ノモデハアリマシク郡村自治ノ精神ヨリ起ル處ノモノニ至テハ  
 官邊ヨリ來ル處ノモノニ至テ郡村自治ノ精神ヨリ起ル處ノモノニ至テハ  
 甚ク妙ナク極善ヲ致シマスレハ此自治自營ノ精神ヨリ起ル處ノモノガ有リマ



セナカウツヲニ由テ如何ナル明法ガアリテモ逆キ充分ナル奏功ト云フ者ハナク  
 則チ機關ガ能ク圓滑ニ運轉致サナカフメト存シマス此農會組織ハ則チ此大  
 切ナル農政上ノ機關ニナルモノゾゴザリマス況ヤ亦今日制度モ變リ大ニ此自  
 治自營ノ精神ヨリモ天ナラヌト云フコトハ誰シモ承知チ致シテ居ルコトデア  
 夫レニ農ノ實体ト申スモノガ山川風土ノ異ナルニ隨テ千態万狀ニ其業ノ所作  
 チ替ヘテ掛ラナケレハナラヌモノゾアル固ヨリ農ノ理ト申スモノハ古今東西  
 天間ハス只一ト筋ヲモ以テ相違チテモ農ノ業ト云フモノハ右ノ如ク山川  
 風土ノ異ナルニ隨テ千態万狀ノモノズル此ヲ以テ例ヘハ縣廳カラナリ郡役  
 所カラナリ只一筋ノ世話計ヲテハ到底トコモコトモ平等併進ト云フコトハ屈カ  
 スモノト存シマス則チ從來御承知ノ通り彼ハ御役人ノナサレルコトヲ申シ  
 チ自分ノ事ノ様ニ思ハシ位アルソレゾウシテモ此農事ノ改良チ行フコトハ  
 各郡村ノ農家現ラヌ自分自身ニ教サテハナラヌモノト云フ感念チ起サシ  
 ルコト尤モ必要ゾゴサリマス此觀念チ起サシマタルニ則チ農會組織ハ最モ必  
 要最モ有效ナル者ト存シマス右様ニシテ參リマセテハ何時迄立テモ農事改良  
 ト云フコトハ出來ヌ否ナ改良ニ度合進歩ガ遲緩ナルコト存シマス殊ニ又農事改

良ト申スコトハ所謂濕レ手ヲ粟ト云フ様ナリニ參テマセハ勿論一人一個ア計リ  
 如何様ニ進歩シテモ國ト云フ大局ヨリ見ルハ其益至テ少ナキ者ゾアリテ少  
 ナ宛ニテモ宜シイカラ万人ガ万人增收チスル様ニナレハ其益實ニ計ル可ラザ  
 ル者ゾアル由チ私等ノ愚考ニテハ非常ナル老農トカ精農トカ云ヘルモノ、一  
 二人出シヨリモ一畝日一合一升ツ、コトモコトモイカラ縣下凡ヘテ農家ガ增收チ  
 スル様仕向チナケレハナラヌモノ思ヒ候ス此點ヨリ致シマスモ農會組織ノ必要  
 ナルコトガ相分ウト存シマス又農會組織完全致シマスレハ右様ノコトハ充分ニ行ハ  
 レ從來ノ如ク縣廳郡役所計リニテ汗水流シテ世話致シマスルモノト比シマス  
 レハ其效万々ナル夫信シマス右ハ則チ農會組織ノ必要ナル譯柄デアリマスソ  
 コト本縣今日ノ狀況ニ於キマシテハ諸君御承知ノ通り既ニ三河農會モアリ郡  
 農會モ大分アリマス町村農會モ段々設立中ノ郡モアリマスカラシテ此際是非  
 ニ縣農會チ設立シタキ希望ゾゴサリマス右ハ真ノ大体チ申シ述タノミゾスカ  
 ラ是ヨリ諮問案ノ章條ニ就キ御印キモアラハ御答辨チスルコト致シ御話チ茲  
 ニ止シマス

○三十番 此諮問ニ對シ之ガ主導者ニハ何人ガナルカ



○説明委員(三番) 昨日三十六番ニ御答シテ置キマシメテ詰リ此組織ニテ宜シケレハ之ニ關シテ御相談ヲ願ヒタイ

○二十四番 管下ニ於テ郡農會各村農會ハ何ノ位ニナツテ居ルカ其實況ヲ承リ

○説明委員(二番) 其レハ一郡毎ニ申止ケテ全体ヲ申セハ郡農會ハ已ニ完結アルノガ十二夫レカラ出來掛テ居ルノガ區四アル町村サハ目下認可ヲ受ケルトシツ、スルノガ九ノガ併シテ其郡々ニ因テ異テハアリマスレド總テ段々上向キノ方デアル

○廿二番 採案ノ組織即チ縣農會ニ付テハ私ノ考テハ農政機關トシテ成立スル思フ各郡ヨリ代表者ヲ出シテ爲サナケレバ不可ヌト考ヘル種類ニ付實業ニ付縣ノ農政實業家ヲナケレバ不可デアル此諮問會ハ會員ハ内ニハ縣會議員至余程會員ヲ成テ居ル爰ニ至テ感ナキカト考ヘル採案ハ漠トシテアルカラ一郡二人ヲ目安トシ定メル方ガ宜シクラン又役員ヨリ此會費ヲ取ルト云點ニ至テハ六ヶ敷ハ各郡農會ガ出來上デモ此縣農會ノ組織原案通リ會員ヨリ費用ヲ出スノハ到底行カレズ考ル一郡二人ノ會員ヲ出メテ當分縣廳ガ補助

スルト云様ニマナラ宜カラウト云意見デアル

○會頭 郡農會カラ出ヌト云憲カ

○三十二番 然デナイ今ノ縣ノ事情ニ照スト此縣農會ノ組織デハ六ヶ敷ノ會頭 宜シイ充分分ル

○三十九番 第一ノ目的ノ内ニ各農會ハ氣脈ヲ通ストアルガ各トハ何ヲ指スカ

○説明委員(三番) 之ハ強チ内カ縣外カト云ノハ實際ノ模様ハ各郡農會村農會ハ氣脈ヲ通ズルノデアル

○三十番 固ヨリ是等ノコトハ實業ヲ廣ク指スカ農ソミチ指スノカ

○説明委員(二番) 本題ノ骨子ハ農業者類デアアルガ工デハ會員ニセスト云デハナク何デモ廣クシテ差支ナイノデアアル

○三十番 此農業ハ今日ノ有様ニ在テハ學識ソミデモ不可ヌ亦實業ノミデモ不可ヌカラ一方ニ傾カヌ様ニ學識ヲ有スル者ト實業者ト相待テ行カチハ不可デア

○説明委員(二番) 勿論ノコト唯諮問其骨子カラ擴ゲマシテ漸次普及セシメムトスルニア



○會頭 午餐ノ爲メ休憩セム(時ニ正午十二時)

午後十二時四十分復席

○會頭 午前ニ引續キ會ヲ開キマス

○十一番 縣農會ヲ起スハ同意ナレドモ今日ノ處三河ニハ農會アレドモ未ダ尾張コナイ依テ先ツ尾張農會ヲ起シ而シテ縣農會ヲ設クルノ順序ニシタシ今起スノハ不得策デアルト思フ

○三十九番 本員ハ今縣農會ヲ起スノハ不得策デアイト思フ前年ハ事ニ因テハ命令的ニ郡農會杯ヲ出來スト云様ナコトモ出來タガ今日ハ左様ナコトハ出來スレテ見レバ先ツ縣農會ヲ出來シ縣農會ヲ開クト云ノハ必要ノ時機デアルト思フ尾三農會ノコトヲ十一番ハ云ハレタガ國農會ヲ起スト云コトハ今必要デナイ郡農會町村農會即チ實業的ノモノハ必要デアルガ又松崎君ノ説明ノ通り學術的ハ最モ必要デアル然ラバ此縣農會ヲ起スニハ名譽アル學術アル人ヲ以テ組織セテハ其効ガナイ素ト此原案ハ文章ノ書様ガ悪ルイカラ縣農會ヲ起スニ有效ナル成文ニセラレタイ

○三十番 此案ヲ行クト長クナル故單ニ縣農會ヲ設クルカ設ケザルカニ就キテ

意見ヲ述ブルガ宜シカラソ

○十一番 私ハ縣農會ハ不必要ト云ニアラズ尾張ハ未ダ國郡農會ガ出來テ居ラヌカラ不完全デ其目的ヲ達スルコトガ出來ナイト云ニアリ依テ縣農會ハ該國郡農會ヲ出來シテ上起シタイト思フ

○三十番 御論デハアルガ三河農會ノ起ルガ如ク尾張農會モ起ラムケレバナラヌガ三河ト尾張ハ地勢ガ異テ居ルカラ三河ノ如クニハ到底出來難イ就キテハ尾張ハ自然ニ任セテ置キ先ツ縣農會ヲ起ス方ガ宜シカラソ

○九番 本員ハ十一番ヲ賛成ス尾張ノ國農會ハ出來ヌト云說モアルカ私ハ強チ尾張國農會ハ出來ナイト云コトハナイト思フ故ニ國農會ガ出來テ居ラヌカラ出來タ上ニスルト云ノデ縣農會ハ不必要トハ言ハナイ唯遲速ガアルノデ茲ニ延期スルト云ノデアル此諮問會ハ必ラス年ニ一回開クト定ツテ居ル譯ニアラザレバ縣廳ノ見込ニ依リ何時デモ必要ガアレバ此諮問會ハ開クコトガ出來ル工業上ナリ商業上ナリニ就キテモ必ラス亦開ク必要ノ時アラント考フ何事モ初メガ大切デ所謂急デハ事ヲ仕損ズルト云コトモアルカラ先ツ此縣農會ノ設置ハ延期スルガ宜シイ



- 三十五番 只今九番十一番ニ於テハ尾張ニ郡農會ガナイカラ縣農會ヲ延スト  
言ハル、ガ私ノ考デハ延ス必要ハナイ國農會郡農會ガ揃ハズトモ縣農會ハ起  
スガ宜シイ三河農會アリ逆尾張農會ヲ是非出來サムケレバナラヌト云必要ハ  
ナイ
- 十四番 三十番ノ説ヲ贊成ス尾張農會ガ開ケテナイカラト云テモ大分開ケテ  
アルカラ捨措テデモ縣農會ヲ起セバ逐次開ケテ行コウト思フ
- 十一番 私ハ三河ト尾張トハ其情況モ異テ居ルカラ尙ノコト郡農會ヲ起シ而  
シテ縣農會ヲ起スノガ順序デアルト思フ
- 八番 縣農會ハ郡農會ヲ出來シテ後出來スカ宜シイ郡農會ノ代表者トシテ行  
ク様ニセヌケレバ縣農會ノ組織ガ出來ナイ先刻青木君ノ説モア切マス
- 會頭 八番ニ申シマス諮問ノ主意トハ違テ居リマス
- 八番 承知シマシタ私ハ郡農會ヲ先ニシ而シテ縣農會ヲ起スガ宜シイト思フ
- 二十六番 十一番ノ説モ希望デスガ尙シ尾張農會ガ開ケザルトキハ如何致シ  
マス縣農會ヲ起スコトハ出來マスマイ固ヨリ此縣農會ノ事ニ就キテハ不必要  
ト云者ハナイカラ其前後ハ何レヨリスルモ別ニ差問ハナイト考ヘマス

- 一番 先刻ヨリ種々議論モアルガ結局此縣農會ヲ今組織スルト尙早トノ途  
ニナツテ居ル即チ三十番ノ組織スト九番ノ延期スルトノ兩説外チイ就テハ此  
兩説ノ可否ノ決ヲ取ルガ宜シカラヌ
- 二十二番 此決ハ取ラヌガ宜イ何トナレハ尙シ決ヲ取り縣農會ハ尙早シト云  
ニ決シタラ其結果如何様ニナル未ダ會員ノ内ニハ其意見ヲ發露セザル者モ  
ラウカト實ハ袍憂シマスカラ此決ハ今取ラヌニ如カズ
- 十一番 私ハ尾張ト三河トハ別デアルト云ノデナイ尾張ト三河トハ情況ヲ異  
ニシアルカラ其爲メ郡農會ヲ先ニスル云ノデ縣農會ヲ起セバ立派ナ様デハ  
アルガ若シ行ハレヌトキハ如何カト思フ牛馬耕ノ如キ内部ニ衝突アリテハナ  
ラヌカラ兎ニ角ニ尾張三河ニ郡農會ヲ出來シ而ル後縣農會ヲ起シメイ尙早シ  
デハナイノデアアル
- 會頭 如何デスカ最ウ宜シイデアアリマセヌカ
- 三十六番 本員ハ十一番ヲ述ヘラレタルガ如ク尙早シデモナク直ク行フデモ  
ナクテハ更ニ分ラム感ヒマスカラ要スルニ本員ノ意見ハ縣農會ヲ起スコトニ  
極メテ置テ之ヲ行フコトハ夫々郡農會ヲ出來シタ後ニスルト云フデアアル



○十八番 事柄ハ十一番モ三十六番モ同意味ノ様デアアル郡農會ガ出來ナメ内ニ  
縣農會ヲ出來カスハ不可スト云ハ詰ル處尙早シト云ノト同道理デアアル此諮問  
ガ其通リデアアルカラ縣農會ノ事ハ皆異論ハナイ

○二十六番 十八番ノ御説ハ尤モデアアル十一番ハ尾三農會ヲ併セテ縣農會ヲ起  
スト言ハレタ様ダガ此縣農會ヲ起スニ就キテハ十一番モ賛成ノ様デアアル然ル  
ニ當分延期スルト言フタリ又尙早シデアハナイト言フタリスルノガ分ラヌ先ツ  
尾張農會ヲ出來サヌケレバ不可スト云ノカ

○會頭 十一番ノ先刻ノ説ハ單ニ尾張農會ヲ起シタ上ニスト云ノデアアル  
○十一番 縣農會ヲ起スハ郡農會ヲ起シタ後ニスト云ノデアアル

○二十六番 縣農會ノ組織ハ別ニ異論ハナイガ唯迅速ノ事ノミデアアルカラ其等  
調査ヲ爲メ十一番ノ説ヲ採決スル前ニ五名或ハ七名ノ委員ヲ置キ會費ノ事柄  
モアレバ整理上調査委員ヲ設ケラレムコトヲ希望スル

○九番 本員ハ十一番ニ賛成シタガ再タ變テ來タカラ私ハ茲ニ一ツ意見ヲ呈出  
シマス二十六番ノ述ヘタル如ク委員ヲ置キ調査シタル上極メル方ガ早カシウ  
ト思フ組織トカ會費トカ原案ガ不完全デアアル時ヲ機説ヲ出來テ歸スル處ガナ

イ因テ調査ノ爲メ委員説ヲ呈出シマス

○三十八番 本員モ委員説賛成

○三十九番 委員ヲ設ケルト云ハ分ラヌ第一目的第二組織ニ至テハ委員モ必要  
デアアルガ他ノ事ニ付テハ委員ヲ置クノ必要ハナイ

○二十六番 私人ノ意見ト違フ處ハナイト考ヘルトテ尾三ノ情況ガ異テ居  
ルトカ第二ノ組織トカ又ハ會費等ヲ爲メ種々ノ議論ガアルノデ大体ニ付夫レ  
等整理ノ爲メ整理委員ヲ置クト云ノア別ニ違テハ居ラヌト思フ

○三十番 私人委員ハ不必要デアアル演劇的ノコトヲセズシテ爰デ此諮問ニ就キ  
充分各意見ヲ述ベ然シテ極メレバ其レデ宜イ

○八番 委員ヲ設ケテ整理スルニ如カズ

○會頭 二十六番ノ説委員若干名ヲ置クト云説ニ決テ取リマス之ニ賛成ノ方ハ  
起立

起立者少數

○會頭 少數デアリマス

○三十六番 委員ヲ設ケヌトナリシ上ハ第一ヨリ第五マデノ内組織ノ點ハ縣下



一般ニ通ワテ學識アル者モ廣ク會員ニスルトセムケレバ不可又其他ハ原案ヲ  
 賛成ス而シテ此縣農會ヲ起スハ郡農會ヲ組織シタル上ニセムケレバナラヌ  
 ○八番 只今三十六番ノ述ヘラレタノハ諸ル所郡農會ヲ起シタル上ニスルト云ニ  
 アラン本員モ同意ナリ

○會頭 三十六番ニ伺ヒマス縣農會ヲ組織スレバ郡農會員ヲ以テ會員ニスルト  
 云ノデアルカ

○三十六番 郡農會員計リテハナイ學識アル者ヲ加ヘ會員ハ廣ク募ルト云デア  
 。

○八番 私ハ全ク縣農會ハ必要ト思フガ併シナガラ郡農會ヲ起シテ夫カラ縣農  
 會ヲ起スト云ニアレバ急ニ郡農會ヲ起ス機注意セラレムコトヲ望ム

○三十番 三十六番モ述ヘラレタガ組織ヲ替ヘテ行方ヲハナシラヌ第一今日ノ時  
 勢日本ハ如何デアアルカヲ知ラシムルノガ必要デアアル農工商ハ其何タルヲ知ラ  
 ズニアレバカラ農業家杯ニハ最モ世界ノ事情ヲ知ラシムルノガ肝要ト存ズル因  
 テ其組織ノ手段ニ付テ先ツ縣稅ヲ以テ補助シテ行ク方法ニスルガ宜イカト  
 思フ

○二十六番 本員ハ意見ヲ述ヘタイガ其前一寸伺テ置キタイ此組織ノ件ニ就キ  
 諮問原案者ニ於テハ會員ハ何名ヲ以テ又如何ナル人ヲ以テスルカ其邊承知シ  
 タシ

○説明委員(三番) 御答シマス實ハ私ノ見込ハ縣下一般ニ通シテ郡町村農會員悉  
 シ會員ニナル様ニシタイ希望即チ郡農會員ハ郡農會ノ代表者町村農會員ハ町  
 村農會ノ代表者トシテ會員ニナルノデ全体デア云トキハ縣農會夫カラ郡村ト普  
 チクト云ノデアアル

○二十六番 其邊何レガ主トナルヤ成ルベク人ノ多イガ宜イノカ又組織セシ上  
 ハ雜誌等デモ發スル積リカ而シテ縣ハ郡ニ郡ハ村ニト順ニ移シ縣郡村トスル  
 組織ナルヤ否ヲザレバ町村ノ實業家ニ直ニ移スト云ニアルカ

○説明委員(三番) 雜誌或ハ報告書ハ毎月一回位ハ發シテ郡ハ勿論町村農會へモ  
 渡スコトヲ希望スル而シテ縣農會委員會規則等モ出來ルト思フ夫レカラ各郡  
 農會村農會ニ機軸ヲ運轉スル其等ハ御相談ノ上ニセム

○二十六番 悉ク縣農會員デアルトスレバ二万人三万人ノ多キニ至ラム如斯ハ  
 宜クナイカラ爰ニ必要ノ各階級ヲ立テ、代議員様ノモノ即チ總代人ヲ以テ縣



農會員トシテ行クト云意ナルカ

○説明委員(三番) 左様

○二十六番 此組織ニ就キテハ實業家及學者ヲ以テ組織スルト云ノテ一般ニ通シテ組織スル方宜シ然シテ會費ノ事ハ成ルベク補助トカ何トカセスト不可スデアル此會員組織ノ事ハ農政上今日ノ場合ガ肝要デアル學者ハ實地ニ熟セズ實業家ハ學理ニ暗イカラ實地ト學理ト相應用シテ行クト云様ニスルノガ最必要デアルト考フ三十六番ノ御説至極ナリ

○九番 二十六番ハ組織トカ何トカニ就キ細々ト述ヘラル、ガ之ハ行過ギタ事ト思フ何トナレハ何事モ始ガ大切デアアルカラ農事改良上私ノ説ハ縣農會ヲ起サヌデハナイガ唯那農會ヲ先ニシ夫レカラ縣農會ト斯様ニ順序正シク始テ誤ラヌ様シタイト云意見テ未ダ其順序モ極マラテハ細目迄ニ立入テ論ズル場合デハナカラウト思フ

○會頭 諮問ノ事デアアルカラ成ルベクハ未ダ御述ベナキ人ニ譲リ多數ノ御意見ヲ承リタイ

○二十六番 只今九番カラ大ニ叱カラレマシタガ全体下カラ行クカ上カラ往ク

カノ二説ノミトハ云モノ、何ニ致セ組織ハ附テ行カチバナヲヌシテ見レバニ十六番ノ説アルハ尤モデアアル九番ハ郡農會郡農會ト言ハル、ガ郡農會ハ縣農會ガ起レバ自然勧誘ニ依リ起テ來ル然ラバ組織上ノ事ニ就キ述ヘタカラ逆何モ差間ハナイ至當ノ事デアアル九番ハ諮問案ノ主旨ヲ誤解シテ居ルト思フ

○三番 私ハ矢張上カラ勧誘シテ行ク様ニスル方ガ宜イト思フ郡農會ハ三河ハ設立シテアルガ尾張ハ未ダ遅レテ居ル漸ク二三郡外起テ居ラヌ位デアアルカラ先ッ縣農會ヲ立テ規則等モ出來レバ郡農會ハ自然起テ來ル都合ニナルト思フ  
○二十二番 松崎技師ニ尋チマスガ二十六番ニ答ヘタノハ曖昧ノ答デアルト思フカラ確ト御答ヲ望ム

○説明委員(二番) 縣下一般ニ通シテ縣農會ハ郡デモ村デモ通シテスルノデアアル町村農會郡農會員ハ僉ナ會員ニスルノデアアル

○二十二番 單ニ縣下一般ト云コトハ止メテ郡農會ヨリ出スナラ出スト判然タル御答ヲ望ム郡カラ撰ムト精神ヲ極メテ如何

○説明委員(三番) 私ヨリ御答致シマス縣下一般ニ通シテト云ノハ一般ノ有ルト有テユル人ヨリスルト云ノデアアル



○會頭 暫時着席ノ儘休憩シマス(午後二時二十分)

○會頭 繼續シ開キマス(午後二時四十分)

○説明委員(二番) 今日ノ場合郡農會ガ撤テ居ラヌ故此諮問案ニ縣下一般ニ通シテトシテアル通り郡農會ガ出來テオオ所ハナイナリニシテ行クノデアアル

○二十二番 縣農會ハ郡ノ代表者ヲ以テスルデアナイナレバ反對デアアル最初カラ縣農會ハ郡農會員ヨリ組織スルト云方宜イト思フ郡農會ノナイ所ハ郡カラ代表者ヲ立テ縣農會ヲ組織スル斯様ニ致スガ明カデ都合モ宜イカト考ヘルガ説明ノ通りデアハ大反對デアアル

○二十六番 私ハ大体ニ就キ述ヘム縣農會ヲ起スニハ別ニ否説ハナイ様デアアル唯上カラ行クト下カラ行クト云ニ説デアアルガ其レ等ハ何レヨリスルモ宜シイガ教育會杯ノ如キハ上ヨリ起テ居ル此農會モ同ク縣農會ヲ持ヘテ夫レカラ郡ヲ勸誘スルトスルガ宜シカラム又差問モ更ニナイ農事ノ獎勵上郡ヲ勸誘スルハ随分必要ノ事ト考フ此縣農會ヲ起スニ付郡農會ノナイ所ハ郡長カ或ハ知事ヨリ直ニ代表者ヲ御命ジニナレバ宜シ余リ細密ニ議シテ居ルト際限ガナイ

○會頭 八番ノ郡農會ヲ起シ而シテ後縣農會ヲ立ツルト云説先ツ此決ヲ取ラヌ

賛成ノ方ハ起立

起立者少數

○會頭 少數ト認メマス夫レカラ十九番及十八番ヨリ建議案ヲ呈出シテアリマス朝讀致サセマス

(枝屬建議案ヲ朝讀ス即チ左ノ如シ)

建議

本縣農事試驗場ハ狹隘ニシテ實功ヲ見ルニ足ラサルヲ以テ縣會モ亦見ル所アリ本年度ハ該場維持スルノ費ヲ決スルノミニシテ之レカ擴張スルヲ希望セリト聞ク然レハ該場設置ニ付テハ農業上至大ノ關係ヲ有スルハ論ヲ俟タス縣下農業ノ情況ヲミルニ地形上其事業ヲ異ニセル少シトセス故ニ該場ノ規模ニ至リテハ可及的大ナラシメ左ノ事業ヲ爲シ得ルノ設計ヲ希望ス

- 一 農用物料ノ分拆ニ關スルコト
- 二 農産物試驗ヲ爲スルコト

三 農用植物ノ病虫害防除ニ關スル試驗ヲ爲スルコト

四 普通農事養蠶山林ノ三科ヲ置農家子弟ヲシテ講習ナサシムルコト



- 五 郡市農事試驗場ヲ監督ノコト
  - 六 各農會ノ希望ニヨリ場長及職員ヲシテ農事講話ヲナサシムルコト
  - 七 本場事蹟報告ノコト
- 依テ本會ノ決議ヲ以テ此段建議ス

明治二十七年十二月六日

提出者

十九番 鈴木平五郎

賛成者

十八番 野村榮喜知

建議

土地區劃改正ハ農業改善ノ基礎ニシテ農家經濟ニ最モ必要ナル事業ナリ然レトモ本縣ニ於テハ該業出願ノ順序完備セサルヲ以テ其利益アルヲ覺知スル者アリト雖モ實行シ能ハサルノ憾ヲ免レズ其利害得失ニ至リテハ業ニ既ニ知事閣下モ諒察セラル、所ナラン故ニ該業獎勵ノ意ヲ以テ簡易至便ナル土地區劃改正出願手續ヲ定メ縣令發布アラントシテ建議ス

明治二十七年十二月六日

提出者

拾八番 野村榮喜知

賛成者

拾九番 鈴木平五郎

○二十二番 昨日呈出シテ置キマシタ染色ノ事ニ就キテ意見ヲ述ベム私ハ本縣ノ情態ヲ見マシテ染色講習所ヲ置クヲ必要ト思フ愛知縣下ハ何ノ産物ヨリ金ヲ取ルト云ニ第一米穀之ニ次グモノハ織物業デアル此織物ハ二十六年ノ統計表ニ依テ見ルト渾テノ産出價額ガ四百八十三萬九千三百三十九圓ニ成テ居ル之ハ客營業者ノ調實際ノ所ハ六百萬圓位ノ産出ハアラウト思フ縣下ニ於テハ米穀ニ次ケノ金額デアル將來進デ行クトキハ一千萬圓ニ達スルハ容易デアル織物ハ漸次進歩シマス然レモ悲ヒカト本縣下ノ織物ハ好評ヲ得ナイ其好評ヲ得ナイノハ私ノ考デアハ學者ニ就キテ爲ルノデナイカラ染色ノ不完全且ツ意匠ガナク不整理デ仕上カ届カヌカラデアルト思フ是等欠點ハ何カラ來ルト云ニ神奈川縣八王子ハ今日デハ西陣桐生足利等ヲ壓倒スル程ニ進デ來タ八王子ノ



如斯進歩シタノハ明治十八年以來日本織物共進會カラ染色法ニ付嚴シク注意  
 サレタ夫レ故八王子ハ技師ヲ雇テ講習所ヲ設ケ子弟ニ傳授シ實業ニ就カシム  
 之ガ元ト成テ今日ノ如ク進デ來タノデアアル日本ノ起業デハ八王子ノ進歩實ニ  
 驚クベキデアアル今愛知縣ノ織物ト八王子ノ織物ト同價額ノ品物ニシテ比較シ  
 孰レト云ハハ八王子ノ方ヲ取ルニ相違ナイ八王子ハ修業シタル子弟ガ實ニ其  
 業ヲ執テ居ルカラ染込意匠等總テ欠點ガナイ品物ヲ比較シテ視レバ能ク分ル  
 依是觀ルトキハ全ク其執業者ノ功拙ニ與カルノデアアル然ルニ愛知縣下ハ五百  
 萬圓程ノ産額ノアルニモ拘ハラズ斯業ヲ教授スル學校ノナイト云ハ遺憾デア  
 ル縣下ノ欠點ノ甚シキデアアル夫々技師學者等ノ説ヲ聽ク毎ニ實ニ涙ガ溢レマ  
 スル夫レカラ尾三兩國藍作反別ハ三千八百拾町五反歩トアル實際ハ未ダ多イ  
 四五千町歩ハアラム此藍作ノ利益ハ農ニ關シテ居ル五百萬圓以上ノ織物ガア  
 ルカラ此織物ノ盛衰ハ即チ藍作ノ興廢ニ及テ來ル又六千三町二反歩實ハ七八  
 千町歩モアル桑園ハ之ハ何ガ爲メノ桑園デアアル外國貿易ノ爲メデアアル此六七  
 千町歩以上ノ桑園ヲ以テ生ワタル糸ヲ織物ニシテ出シ又綿モ尾三ハ有名デア  
 ル紡績モ亦盛デアリマヌ如斯藍作ヲ始メ養蠶綿作及紡績等ノ隆盛ナル素ハト

云ハハ織物カ主デアアルト考フ此織物ハ前ニモ申上ル通り米穀ニ次デノ金額デ  
 アレハ斯業ヲ獎勵スルハ最必要ノ事ト思フ併シナガテ今日ノ織物ヲ以テ將來  
 ニ進メテ行カントスルハ余程困難ノモノナラズ到底望ムベカラザル事デアレハ  
 染色意匠ヲ始メトシ着々改良ヲ謀ラムヲゾナラヌ就キテハ此染色講習所ヲ  
 本縣下ニ設クルノハ必要デアアルト考フ私ハ此工業ノ事ヲ這回持出ヌンハ平素  
 見タリ聞タリシテ改良シタル染色ノ如ク充分腦髓ニ染ミ込ミ脱感セズシテ茲  
 ニ至リ漸ク此好機會ニ遭遇シ卑説ヲ吐露スルコトヲ得タル次第デアレハ諸君  
 ニ此染色講習所設置ノ事ハ御贊同ヲ希望スルデアラ御座リマヌ

○三十番 二十二番ノ述ヘラレシ事ハ私ハ熱心デアリマヌカラ些シク述ヘトウ  
 御座リマヌ

○會頭 宜シイ

○三十番 二十二番ニ伺ヒマヌガ此染色講習所ヲ設クルニ就キテハ如何ノ方法  
 ヲ以テスル御積リデアリマヌカ其程度ヲ伺ヒヨシ近來ノ染物ノ濫製ニ流レテ  
 來タト云ノハ下流ノ者デモ止流ノ者デモ揮テ華奢ト云様ニ成テ來テ直段ノ安  
 イ立派ナ物ヲ好ム時勢デアアルカラ西洋人ハ愛ニ眼ニ着ケ表面ノミ美麗ナル極



直安ノ品物ヲ持來テ賣附ケ金儲チヌルノヲ獨リ西洋人ノミニ甘味イ汁ヲ吸ハ  
 レテ居ル實ニ残念テアル從來ノ染色ハ不完全ナガラモ脱色等ノ憂少クシテ目  
 下ノ物ヨリハ余程勝テ居ルカト思フ因テ此染色ノ事ハ今ニシテ改良セヌケレ  
 ハ將來永久ニ及ボス影響如何カト心配スルノデアアル此染色ヨリ物ヲ良クスル  
 ト云ニ就キテ先年中島郡ノ有志者が農商務省ニ請ヒテ傳習ヲ受ケテ見タ所ガ  
 染料ガ高クナリ到底時勢ニ適セナイ故ニ今デハ矢張需用者ノ多キ安物ヲ持  
 ○供給シ居ル都合デアアル然ラハ既往將來ヲ顧慮シ此染色改良ハ目下必要ノ事ト  
 思ヒマヌ

○二十二番 私ノ考デハ講習所ヲ設クル學科ノ程度ハ先ツ高等小學ヨリ中學マ  
 デノ子弟ヲシテニケ年位講習セシメタナラ宜シカラウト思フ東京工業學校へ  
 入レテモ良イガ彼ノ學校デ卒業シタル者ハ総テ月給取リニ眼ヲ着ケルカラ之  
 ○不可不テ實業者ヲ養成セムトスルニハ講習所ヲ設クルニ如カズト考ヘマ  
 ス

○會頭 今日ハ是デ置キマス時ニ午後三時五十分

十二月七日午前十時十五分開會

出席三十名

○會頭 今朝ハ十八番ニ於テ呈出セラレタル土地區劃改正ノ縣令ヲ發セラレタ  
 ○キ義ノ趣意ヲ述ヘラレマシ

○十八番 私ノ建議ハ土地區劃ヲ改正スル手續ノ事デ此事ハ石川縣靜岡縣等ハ  
 己ニ行テ居ルガ耕耘ノ便ヲ得收穫ヲ増スノデ私ガ本年着手シテ見マシタ處ガ  
 本縣ニハ未ダ其手續ガナイカラ畦畔撤去道路ノ變更何チ爲ルニモ土木トカ議  
 事トカ四課又ハ收稅或ハ郡長ト斯様ニ關係スル處ガ多イノテ繁雜シ容易ノ事  
 ズハ出來ナイ因テ此手續ノ編制ヲ望ムノデアアル石川縣杯デ施行シテアルノチ  
 觀マヌルニ都合能ク出來テ居ル本縣デモ此藩ハ斯ク是ハ云々ニ爲ロト斯様ニ  
 一々手續ヲ示サヌケレハ不便ノミナラズ此利益アル改正モ遲々トシテ着手ス  
 ル者ガ鮮ナイ故ニ本縣モ急ニ手續ノ編制アラント希望スルノデアアル

○十一番 只今ノ十八番カラ述ヘラレタル建議ノ件ハ先年此會ニ於テ意見ヲ諮  
 ハレタルモノト同一ノコト、考フルガ如何

○説明委員(四番) 其時ノ事ハ色々變リマシテ今日迄其儘ニナリ居ル



- 十一番 今道路ノ事ヲ申サレタガ是等ハ然程六ヶ敷事ハキイト考フ
- 十八番 其六ヶ敷ト云ノハ愛知縣ヲハ今新道ヲ開クニモ舊道ヲ廢スルニモ手  
順ガ以前ト違ヒ繁雜スルカラ之ヲ輕便ニスル方法ヲ設ケタイト云ノデアル
- 會頭 十八番ニ就キマスガ土地區劃ノ改正ヲスル手續ガ可成簡易ニ出來ル様  
ニシキイト云ノデアルカ
- 十八番 官邊ノ整理上ニ於テモ然様セヌケレハ都合悪ルカラウト思フ
- 會頭 此建議ノ事ハ私ガ預テ置キマス
- 十八番 實ハ此改正ノ事ヲ私ノ郡デハ己ニ始テアルノデアルカラ願フハ手續  
ヲ至急示サル、様致シタイ
- 會頭 頒布ノコトハ引受ルト云譯ニハ行カナイガ何レ考ヘテハ見マスル夫レ  
カラ十九番ノ鈴木君呈出ニナツテ居ル建議ニ就キ御意見ヲ述ヘラレタシ
- 十九番 私ノ建議案ヲ呈出シタノハ、此所小聲ニテ八名郡ノ如キ有様デハ終ニ  
ハ農業杯ハ嫌ニナツテ爲ナイ様ニナリマスカラ講習所デモ於テ講習セシメタ  
ナラハ宜シカラウト思フ故ニ本案ヲ呈出シタ譯デアアル諸君御賛成アラソトナ  
○會頭 十九番ニ等キマス何夫レヲ正式ニスルセヌハ専門ノ事デアアルカラ普通

- ノ農業者デハ出來ヌシテ見レハ専門家デモ雇フ積リナルヤ
- 十九番 専門者ヲ置キタキ考デアアル
- 會頭 此子弟ヲ養成スル年限ハ何程ノ見込ナルヤ
- 十九番 先ツ三年位實習セシメタラ宜シカラウト云フ考デアアル
- 會頭 此建議ニ就キ意見アル方ハ御述ヘナサイ
- 三十番 只今ノ農事試験場設計組織ノ希望ハ至極宜イガ併ナカラ縣下ノ民度  
ガ許サヌコトモアラム又組織ノ道具モ揃テ居ラヌカラ此事ニ就テハ今日ノ度  
合テ充分講究セラレテ置キタイト思フ云フベクシテ行ハレ難イト云様ニナツ  
テハナラヌ故當局者ニ於テモ宜敷御考アラムヲ望ム農業ハ他ノ實業ヨリ進歩  
ガ通レテ居ルカラ及ブベキ丈ケ發達スル様ニ手段ヲ執ラテハナラヌ一反トカ  
ニ反トカ個人的ノ仕事ヲ爲テ居テハ到底發達スルモノデナイ外國トノ貿易モ  
漸次進テ往ク世ノ中デアレハ一般ニ國家ト云事ヲ知テ仕事ヲ爲ル様ニセヌケ  
レハナラヌ假令ハ今支那ノ如キ有様デ國家又ハ外國ト云コトヲ知ラヌト發達  
トコロデハナイ自然縮少スル何ニ限ラズ然云様ナモノデアアルカラ此試験場ヲ  
組織スルノモ充分ノ講究ヲ要スル事ト考フ十九番ノ是々ト條項ヲ限ルハ長ク



ナイ是等ノ事ハ又時機モアラウカラ當局者ニ於テ宜敷標取計ハレタシ  
○會頭 外ニ御意見ハアリマセヌカ

○三十番 此議ガ終リマシタ後染色ノ事ニ就キ二十二番ト相談シタシ

○會頭 十九番ノ建議モ事更ニ可否ヲ決スルニハ及ブマイト存シマス之モ私カ  
預テ置カム宜シウ御座リマスカ

○十九番 宜シイ

○三十番 昨日二十二番ハ染色ノ事ハ進デ居ラヌカラ染色講習所ヲ設ケテト云  
ハレタガ私ハ紺屋デアルガ學問ヲシテナイカラ染物屋ナガラ是迄不案内デ居  
タ處ガ本縣ニ雇テアル和田義幹ト云人ニ就キ話ヲ聞テ視マシタラ大ニ感ズル  
コトガアリマシタ此染粉毛糸木綿糸杯ニ附着サセテ其仕上ガ不良ナノハ彼レ  
ハ遣リ方ヲ知ラヌ即チ職人ガ不心得デアルカラデアアル夫レカラ藍日本ノ藍ハ  
多ク蓼藍ト云ニ似タモノデアアルガ藍ハ六十何種カアルカラ是等ヲ試驗場又ハ  
有志者ガ試験スルモ其前ニ分拆ヲシテ見タ上デナケレハ不可ヌ幸イ本縣ニ和  
田義幹ト云學術兼備ノ人ガ雇テアル故此人ヲ教師トシテ實業家有志者ニ簡易  
ハ方法デ教示スルト云様ニ遣テ看タイ就テハ縣會ノ補助ヲ以テ講習所ヲ設ケ

ダイト思ヒマスガ其レカ不可ナレバ止テ得ズ我々カ招聘シテモ遣テ看タイ澤  
山ナ金ハ要セヌ五拾圓モアレハ宜シイ此藍ノ事ハ風土氣候ガ許サヤ否ト云テ  
調ル杯モ最モ必要デアルト考フ今貿易上ニ取テモ日本ノ主産物ハ何カ副産物  
ハ何カ其事業ヲ擴張セヌケレバナラヌ農業ガ單獨テハ行ケヌ工業商業ト此三  
ツノモノガ相待テ行カチハ不可ヌト思フ茲ニ居ル吉原祐太郎君モ御存テアル  
ガ此染色ノ事ニ就キテ先年豐橋デ話シタコトガアル之ハ唯藍瓶ノ蓋ヲ取ルト  
不可ヌト云ノ一デアアル夏ハ飯デモ何デモ蓋ヲ取レバ風ガ通テ宜イト云人ガ多  
イカ之ハ決シテ宜マクナイ蓋ヲシテ置クガ極必要ナノデアアル學理上デ然様デ  
アルガ學理ニ暗イト丸デ顛倒シタコトチスルモノデアアル此所デ和田義幹君ガ  
實際ノ事ヲ爲テ視セタナラ至極有益ノ事デアルト云觀念ガ發ルダラウト思惟  
シマス彼ノ有名ナル物産組デモ有松絞デモ此染色ニ付テハ最モ必要ノ事デア  
ルト考フ然ラバ諸君ノ御賛成ヲ得テ講習費ヲ出シテ先ツ講習會ヲ開キダイト  
云精神ナノデアリマスル

○二十二番 只今三十番カラ意見ヲ述ヘラレタノテ昨日ノ私ノ説ガ活テ參タカ  
ト存シマス此染色講習ノ事ニ就キテハ縣稅ヲ以テ補助セラレタイノデアアルガ



當局者始メ冷淡テ居ルノコ困ル已ニ三年以前縣下ニ大講習所設置ノ事ハ述テ置キマシタ若シ私ノ説カ行ハルレバ縣下ノ爲メ幸福テアル今日ハ幸イ和田義幹ト云藍ノ専門家カ本縣ニハ雇入テアレバ此講習所ヲ設クルニ就キテ萬事都合ガ宜イト思ヒマスカラ速ニ賛成テ望ミマス

○三十番 其事ハ可否ヲ極メテ後ニモセラレタイ

○二十六番 三十番ハ和田義幹ヲ雇フト云フノカ

○會頭 先ツ本縣ニ雇テアル和田義幹ヲ以テ講習會ヲ開キ試験シ其結果宜シケレバ講習所ヲ設ケ其費用ハ當業者ノ自辨ニシテ不足ノ分ハ縣稅ヨリ補助ヲ乞フト云ノデアラン

○十一番 和田義幹ハ染物ノ方ガ精イノカ或ハ藍ノ方ガ専門デアレカ

○三十番 私が聞キ得タ處デハ藍ノ方ガ長ケテ居ルカト思フ尤モ染粉ノコト杯モ心得テ居ラル固ハ藍ヨリ成立タ人ト見ヘマス此教師ハ充分ノ者ニ非ラザレハ却テ害ニナルコトモアル本員ハ和田義幹ハ學術共ニ適當ノ人ト考ヘルガ尙ホ知事ニ於テ取調ラルコトヲ望ミマス

○十一番 教師ニナル人ハ充分ノ人デナケレバ不可又不充分ノ人デアルト害ヲ

及ボスコトガアルカラ若シ其人ガ不充分デアレバ反テナキニ如カズ

○二十四番 此諮問會ニ建議杯ヲ出シテモ宜ウ御座リマスカ三十番ハ和田某ノコトヲ縷々述ヘラレタルガ私ハ如何シテ宜イヤラ其決心ニ苦ム望ム人ハ望ムガ望ム人ハ望ムマスカラ其丈ハ止メテ置シガ宜イ私ノ友人ニ醬油屋ガアリマスガ其醬油ノコトニ就キ人ヨリ種々ノ傳授ヲ受ケ遣テ見タ所ガ大ニ失敗シタコトガアル是等ハ本人ノ其事業ニ暗イ故ニ詰リ人ニ欺マサレタト云ノ外ナイ斯様ナコトモアレバ唯私ノ意見トシテ參考迄ニ申シテ置キマス

○會頭 建議ヲ提出スルハ宜シウ御座リマス

○三十番 人ハ指シマセスカ斯様ナ人ガアルト云タノハ茲ニ端緒ヲ發ク爲メニ云タノデ又今日ニ當タ者ヲ咄ニシタカラ逆何モ差問ハナイト思フノミナラズ此染色ノ事ニ就キ感ヲ起スコトモアルデアアルカラ人物ヲ撰テ述タノデハナイノデアアル

○會頭 未タ諮問案ノ件アレハ可成簡單ニ述ヘラレタシ

○二十六番 只今三十番ノ云ハレタ染色ノ事モ些シクハ承知シテ居ルガ私ノ地方ハ佐織綿杯多ク出來ルガ此染方ニ注意スルト云コトガ行ハレヌ永遠ノ事ハ



染屋が用ヒナイ眼前ノ事ノミニ目ヲ着ケ尤モ他ノ地方モ其通リデアルカラ安直ニ仕上ル方法デアケレバ引合ヌト云何ニシテモ充分ノ遣リ方ハ到底行ハレヌ實ハ二三回遣テ看タコトモアルガ當業者が用ヒナイ然ラバ其方法ハ能考ヘ又研究モユケレバナラムト思フ

○九番 此事ハ三十番並ニ二十二番ノ考トカ意見トカニシ本會ヘ提出シタト云迄ニシテ止メテ措カレタイ斯様ナ事ノ決議ヲ取ル様ノコトアツテハ宜クナイノデアアル本縣勸業會デア或ル人ヲ於テ見タリ止メテ見タリスルハ不可デアアルカラ是等ノ事ハ兩君ノ意見トデモシテ措クガ宜シイト云ノハ若シ決テ取り可トスレバ同様ナ事ガ何程出ルカ知レヌ是事モ爲テ見タイ彼事モ遣テ見タイト云テ種々様々ノ事ガ澤山出ルデアラウト思フノデアアルカラ止メテ措カソコトヲ望ム

○十一番 建議ニ付テ九番ハ杞憂セラレタガ私ハ差支ナイト考ル何トナレハ之が出タ所ガ之ヲ執ルト否トハ知事ノ意見ニアレバ此諮問會ニ建議シヌカラ逆差支ナイ決シテ心配スルニ及ハヌ

○會頭 段々御説テ承リマシヌ私モ此染色ニ付テハ手ヲ着ケタ事モアレバ先ツ

諸君ノ御意見ヲ拜聴シ置キ可否ノ決ハ取りマセヌ御承知アレ

○會頭 未タ午前ノ時間モアレバ引續キ昨日ノ縣農會ヲ組織スルコトニ付御意見ヲ述ヘラレタイ

○二十二番 諮問案第二ヲ縣農會々員ハ郡農會ヲ代表スル者ヲ以テス但郡農會未設ノ郡ハ便宜代表者ヲ出スヲ得斯様ニ修正セラレタイ

○三十三番 郡農會ヲ代表スル者ハ何名ヲ以テスルヤ

○二十二番 大体ハ尾三ヲ十九郡アリ是ニ市ヲ加ヘ二十ノ各郡市ヨリ二名宛出ストスレバ四十名三名宛トスレバ六十名トナル私ハ二名ヨリ少ナカラズ三名ヨリ多カラザルヲ以テ可トス

○會頭 二十二番ニ御尋シマス郡農會未設置ノ所ガ幾郡モアレバ縣農會ハ成立スト云ノデアアルカ

○二十二番 若シ縣農會ガ開ケマセヌケレバ郡農會ヨリ設ケテ行ク様ニスレハ宜シイ

○會頭 郡農會カラ起シテ縣農會ハ後ニスルト云ノカ

○二十六番 只今二十二番ノ修正説モアリ昨日説明委員ヨリ伺タ事モアルガ日



本教育會成ハ水産會是等ノ如キハ先ツ上ヨリ下ニ及テ往ク組織デアル然ラバ何モ下カラ起シテ往カチバナヲヌト云フハナイ故此縣農會ハ設ケルコトニシテ置クガ宜シカラウ思フ

○二十二番 昨日來松崎技師ノ説明ガ曖昧デアルカラ分テ又縣農會ノ大体カラ申スノデアレドモ其レヲ昨日來變テ説明ヲ分リ惡イガ郡農會ヨリ代表者ヲ出シテ縣農會ヲ組織スル斯云考デアル又費用モ會員一人一人カラ取テスルト云性質ノモノデアハナイト考ル

○二十六番 昨日那方カラ出シテ修正ガ至極宜イト思フ故賛成スル此場合種々ノ説ヲ持出スト何時迄立テモ止メドガナイ

○十一番 二十二番ノ修正ノ事ニ付郡農會カラ代表者ヲ出シテ縣農會員トスルト云ノデアアルガ費用ト云モノハ如何シマスルカ

○二十二番 當分ノ内ハ縣稅ヨリ支辨セラレタイト云考デアアル

○十一番 會長始メ役員ハ會員中ヨリ互撰スルカ又ハ縣廳ノ人ヲ以スル積リナ

○二十二番 縣農會ノ會長ハ縣ノ高等官ヨリ其他ノ役員ハ會員中ヨリ撰舉スル

ノガ宜シカラウト思フ

○十一番 私ハ縣農會ヲ組織スルコトハ不可云デアリマスガ賛成者ガ少ナイ就テハ二十二番ノ申ス如ク縣農會ノ會長ハ縣ノ高等官ヨリ他ノ役員ハ會員中ヨリ互撰スルト改メ而シテ其年期ハ二ケ年トスル二十二番ノ説ヲ賛成ス

○會頭 午餐ノ爲メ休憩シマス時ニ正午十二時

午後一時四十分復席

○會頭 午前ニ引續キテ開キマス大体ニ付御意見ヲ述ヘラレタシ

○三十五番 段々御説モアリマシタガ私ハ委細ノ事ハ理事者ニ任セテ置テ本日ハ唯太休ヲ可トシ此會ヲ閉テラレムコトヲ希望シマス

○十八番 三十五番ト同様ノ感ヲ以テ居ル本員ハ目的以下ノ事ハ今彼是云ハズトモ宜イ

○二十五番 本員モ矢張只今三十五番ノ述ヘラレタ通り閉會ヲ望ミマス併シ其方針ニ至リテハ單ニ十一番ヲ賛成ス

○二十六番 先ニ述ヘテ置キマシタ通り大体ヲ可トシテ宜シイ文章ノ事等ハ今左右云ニ及ハズ



○三十三番 賛成

○八番 三十五番と同様細カク論ゼズトモ唯大体ノ事ヲ決シサイスレバ宜イ費用ノ事ニ付テハ縣農會ガ起テカラニシテ余計ナ事ハ止メテ置カム

○二十二番 此不完全ナル諮問案ニ曖昧ノ説明ヨハ

○會頭 答申ニ必要ノ廉丈ヲ述ヘラレタシ

○三十八番 固ヨリ諮問ヲ説キ聽クト云ノミデアレバ各自意見ヲ述ヘサイスレバ足ル

○會頭 二十二番ノ會員ハ郡農會ヲ代表スル者ヲ以テスト云説ト三十六番ノ郡農會員時カデナク學識アル者等ヲ加ヘ會員ハ廣ク募ルト云説ト此兩説ニ成テ居ル

○二十五番 私ハ二十二番と同感デアアル縣下ヲ通ジテ撰ムト云コトニナルト色々ノ人ガ來テ假令ハ農商工ト云様ナ色々ニ考モ別レテ其當ヲ得ヌカラ勸業諮問會ハ其諮問ニ適當ナル人ヲ撰ムノガ必要デアルト同様築屋ノ咄杯ハ知ラヌガ荷キ縣農會ト云ニ至リテハ相當ナル人ヲ撰マヌケレバナラヌ故ニ縣下ヲ通ジテトスルヨリハ郡農會ノ代表者ヲ以テスル方ガ良イト考ヘル

○三十二番 最早尽キタト思ヒマス二十二番等ノ説ハ宜シク會頭ニ於テ取計ハレタシ

○三十八番 大体ハ分テ居ル他ノ事ハ不要デアアル限リガナイ

○十四番 此會員ハ縣下一般ニ通ジテ學力並ニ實業ニ長ケタ人ノ出ル様ニ致ス方ガ宜イ

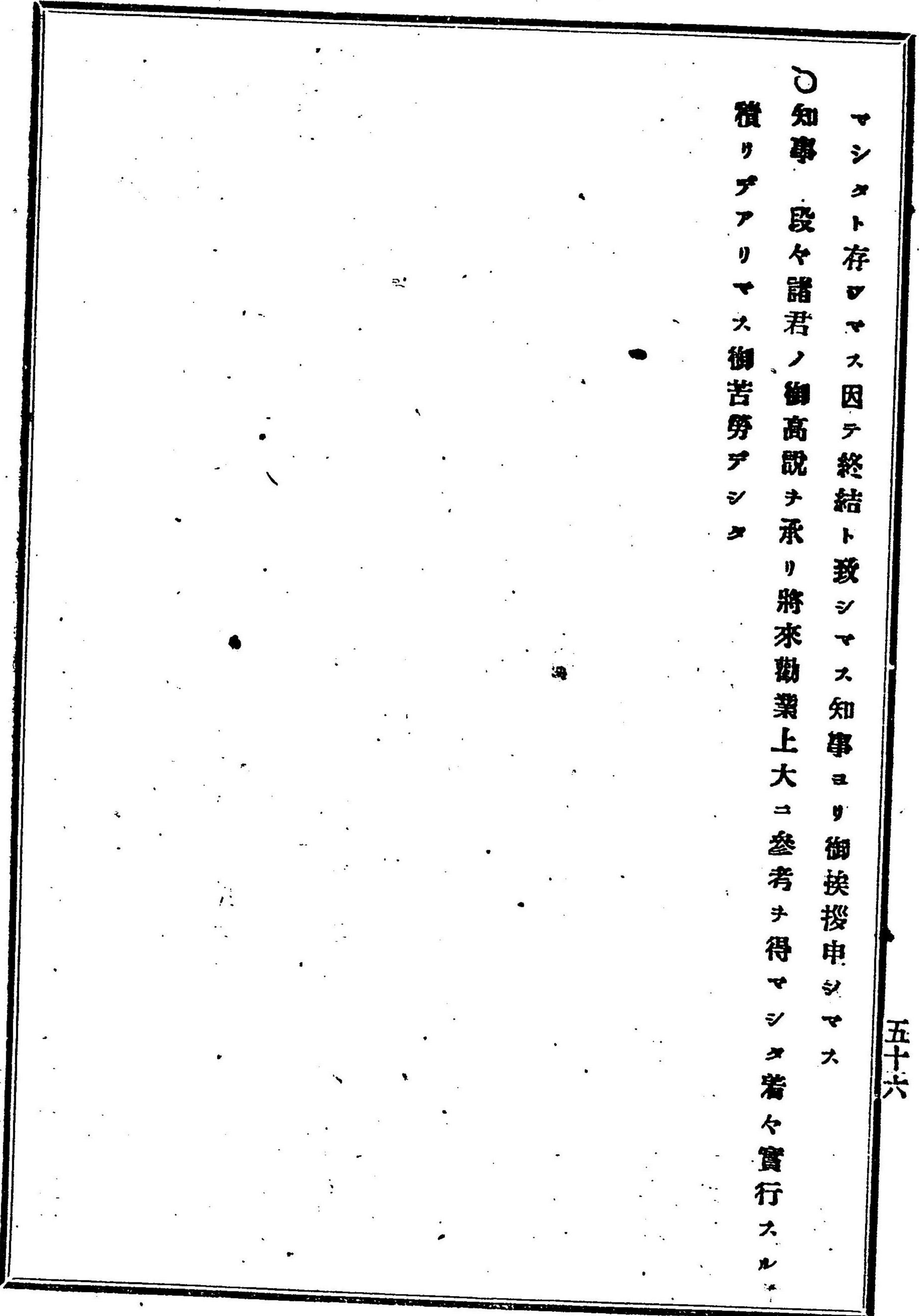
○二十五番 會頭迄申シマス勸業諮問會ハ勸業上必要ノ事デアアル這回開會セラレ實ニ満足致シマシタ斯諮問會ヲ縣會ノ前ニ開キマスト尙ホ好都合デアツタカト存シマス滿堂諸君ガ縣農會ヲ起スガ良イト云ハレタニ就テハ此費用ハ縣稅ヨリ補助シテ至當ト思ヒマス故ニ縣會ト開會時期ガ前後シタノハ遺憾ノ事デアツタト存シマス夫レカラ勸業上此必要ナル諮問會ハ後來ハ年ニ一回或ハ二回開クコトヲ希望シマス拾遺ニ様願テ置キマス

○三十八番 先刻來申シマス通り縣農會ニ就テノ話ハ盡キタト思フ横道へ這入

○會頭 三十八番ニ答ヘマス大体テ此席ハ閉ヂマス諸君最早御意見モ略々盡キ



マシタト存マヌ因テ終結ト致シマス知事ヨリ御挨拶申シマス  
○知事 段々諸君ノ御高説ヲ承リ將來勸業上大ニ參考ヲ得マシタ着々實行スル  
積リデアリマス御苦勞デシタ



明治廿八年五月四日印行  
明治廿八年五月六日發行

# 愛知縣

愛知縣名古屋市長町六十一番戶  
印刷者 磯田伊三郎



